



▶ 決算説明動画配信のご案内

当社のYouTubeチャンネルにて、2022年3月期第2四半期決算に関する説明動画を配信しております。ホームページのリンクもしくは右記QRコードをお読みいただければご視聴可能です。今後もYouTubeチャンネルにて様々な情報を発信してまいります。

アクセス方法



パソコンから
<https://www.nichidai.jp>



スマートフォンから

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、右のQRコードからアクセスいただけます。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページ(https://www.nichidai.jp)にて掲載
単元株式数	100株

株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

本社 TEL. (0774) 62-3481 (代)

ニチダイグループの詳しい情報については、右記QRコードからホームページをご覧ください。

<https://www.nichidai.jp>



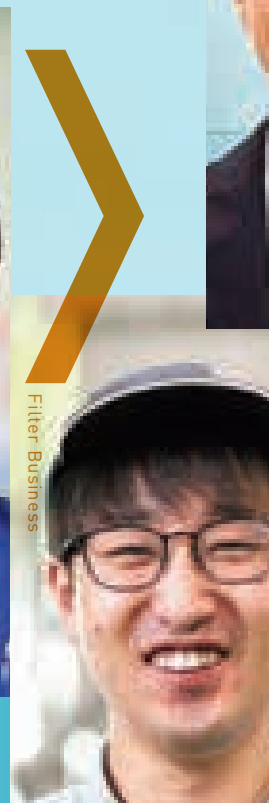
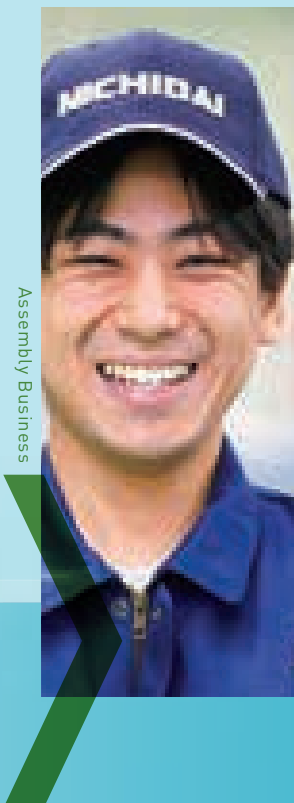
NICHIDAI REPORT

Vol.40

2022年3月期 中間期
2021.04.01~2021.09.30



証券コード 6467



活躍する社員の声

未来への挑戦
中期経営戦略

大きく回復するが 予断は許さず

上半期の業績

上半期は、当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業で新型コロナウイルス感染拡大による影響から緩やかな回復を見せ、連動してネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の業績もそれに伴い回復しました。加えて、自動車産業の動向に左右されにくいフィルタ事業においても前期からの好調が続き、前年同期比で増収を達成しております。その結果、上半期は売上高67億8千8百万円（前年同期比33.1%増）、営業利益2億5千5百万円（前年同期は、3億9千9百万円の営業損失）、経常利益2億5千万円（前年同期は、2億7千3百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億4千2百万円（前年同期は、2億8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となり、計画を上回る利益を計上することができました。

下半期の取組み

第2四半期から東南アジアなどで新型コロナウイルス感染症が再び拡大し、現在収束の見通しが立っていない状況です。加えて半導体や部品などの供給不足により各完成車メーカーの減産発表が相次ぐなど、下半期は厳しい環境が予想されます。

ネットシェイプ事業については、既存顧客へのきめ細やかな対応を進めるとともに、将来の需要を生むための開発の手も緩めずに取り組んでまいります。アッセンブリ事業については、競争が激化していく中で、市場の動向を見極め、さらなる効率化を

図ります。フィルタ事業は国内外で商談が活発化しているため、受注を確実に利益に結びつけてまいります。加えて、引き続き3N (New) と呼んでいる「新製品、新用途、新規顧客」を拡大する取組みを続け、成長を着実なものにしてまいります。

通期の見込み

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていないことなどから、引き続き流動的な経営環境が続くことが予想されます。上半期は好調に推移しましたが、通期計画は期首発表した数値を据え置きとし、売上高136億円（前年同期比25.7%増）、営業利益4億円（前年同期は、3億3千9百万円の営業損失）、経常利益4億3千万円（前年同期は、1億7千3百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益2億9千万円（前年同期は、1億7千万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を見込んでおります。

株主配当

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としております。

配当につきましては、上半期業績の上方修正をしましたが、下半期の厳しい経営環境を想定して、当初の予想を据え置き、中間配当・期末配当ともに5円とし、年間配当合計10円を予定しております。

当社グループはこの上半期、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した前年から大きく回復しました。状況は予断を許さないものの、中期経営計画に基づく戦略を着実に実行し、将来を見据えて環境変化に対応してまいります。株主の皆さまには、当社グループの現況のご理解を賜りますとともに、今後の発展にご期待いただきますようお願い申し上げます。

逆風が吹く中で
自動車減産の長期化
新型コロナの再拡大

描くシナリオ。

力を結集して
突破する。

まだ回復途上



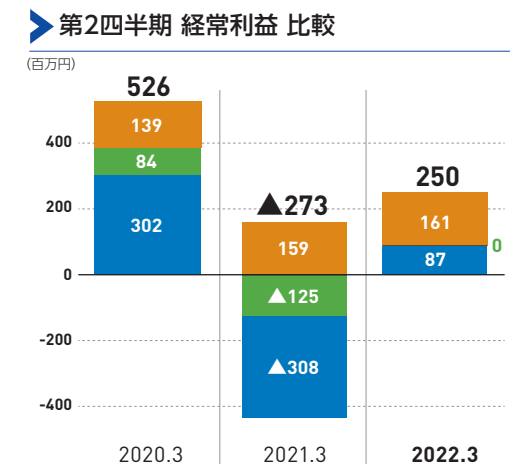
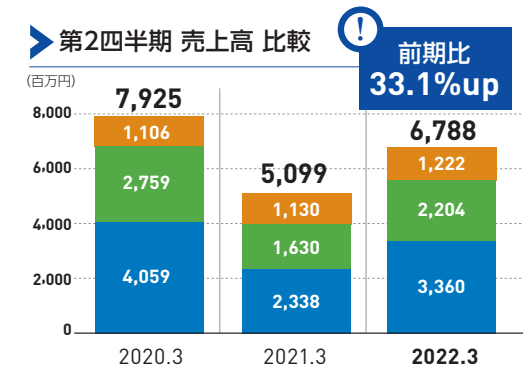
代表取締役社長
執行役員
伊藤 直紀



第2四半期で見る 売上高・経常利益比較

前期から大幅回復しましたが、コロナ禍以前の水準にはまだ遠く及びません。最悪期を脱したものの、業績は回復途上にあります。

■ ネットシェイプ事業 ■ アッセンブリ事業 ■ フィルタ事業



3つの事業を展開

高精度な自動車部品をつくる「金型」をトータルサポート

ネットシェイプ事業

Net-Shape Business

一発のプレスで
材料を複雑な形状に加工

材料 → 鍛造 → 部品

高精度 省資源 高強度

金型

工程設計から金型生産・部品製造までのトータルエンジニアリングを提供

精密鍛造品

金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供

自動車の燃費向上・排ガス削減に役立つキーパーツを組立て

アッセンブリ事業

Assembly Business

多くのパーツを組み合わせて
部品を組立て

パーツ → 組立て → ターボチャージャーメーカーを通じて世界各国の自動車メーカーへ

高品質 自動化 2極生産

ターボチャージャーの部品

ターボチャージャー部品の組立てで顧客企業の現地調達ニーズに対応

この部分を組立てています。

過酷な条件でも使える金属フィルターをさまざまな産業に提供

フィルタ事業

Filter Business

ステンレスの金網を
重ねて焼結して加工

ステンレス金網 → 焼結炉 拡散接合技術で一体化 → 産業用フィルター

高強度 耐熱 耐酸性

産業用フィルター

積層焼結フィルターの生産と顧客メーカーの用途に応じた形状に加工

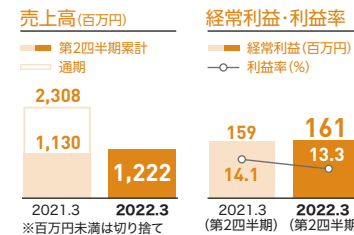
洗浄・再生サービス

フィルターの洗浄・再生サービスの提供

フィルタ事業 Filter Business

■上半期の概況

他の2事業と異なり自動車産業以外をメインターゲットとしており、主力ユーザー向けが好調だったことやアジア向けの製品の売上が堅調に推移したことから、売上高は12億2千2百万円(前年同期比8.1%増)となりました。また、経常利益は、1億6千1百万円(前年同期比1.5%増)となりました。



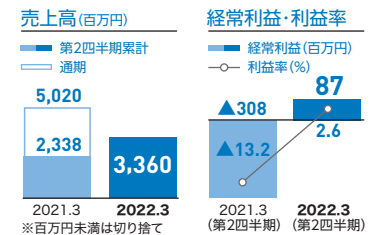
■下半期の見通し

下半期については、自動車産業以外向けの需要が旺盛なことから、引き続き堅調に推移することが見込まれます。

ネットシェイプ事業 Net-Shape Business

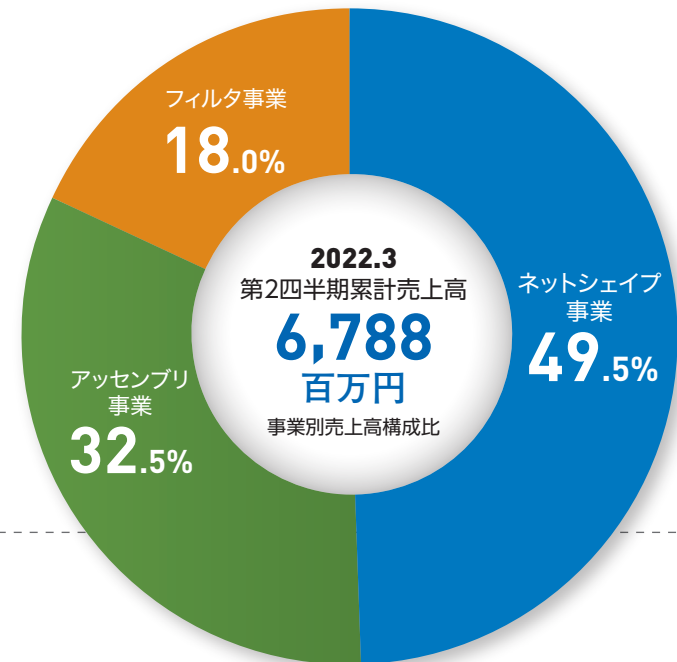
■上半期の概況

自動車産業の回復により金型部門が好転し、精密鍛造品部門においても海外で堅調に推移しました。事業全体としては前期の大幅損失計上から脱し、経常利益を計上しております。その結果、売上高は33億6千万円(前年同期比43.7%増)、利益面では8千7百万円の経常利益を計上しております。(前年同期は3億8百万円の経常損失)



■下半期の見通し

下半期は主要顧客業界である日系自動車産業では東南アジアでの新型コロナ再拡大による自動車部品生産の停滞に加え、半導体の供給不足の影響が生じております。そのため、先行き不透明な状況であり、厳しい経営環境が予想されます。

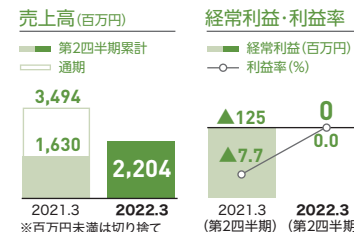


アッセンブリ事業

Assembly Business

■上半期の概況

当期はネットシェイプ事業同様、自動車産業の回復に連動し売上高は22億4百万円(前年同期比35.2%増)となりました。利益面では前年大幅の損失から回復し若干の経常利益を計上したものの、東南アジアでの新型コロナ再拡大による自動車部品生産の停滞が第2四半期から影響を及ぼしております。



■下半期の見通し

下半期については、半導体供給不足などの影響が生じる可能性があり、厳しい事業環境が予想されます。

ニチダイグループの事業、製品の詳細情報については右記QRコードからご覧いただけます。



事業紹介



ネットシェイプ製品



フィルター製品

「3つの挑戦」の取組み

新型コロナウイルスによるパンデミックは世界を変えました。
新たな環境認識のもと、
引き続き中期経営戦略を推進してまいります。

変化が激しい時代だからこそ、変化を恐れない。

私は、2019年3月期より運用している現在の中期経営戦略「3つの挑戦」の策定にも経営企画室長として深く携わりました。そのため、社長となった今でも会社が目指す方向性に関してこの戦略は大きく変わるものではないと考えていますが、その一方で当社を取り巻く環境や社会の課題は刻々と変化しています。従来の考え方を大切にしながらも、事業環境の変化にしっかりと適応することが必要だと考えております。

当社グループの持続的な成長のためには、既存事業をさらに強くすることはもちろん重要です。しかし、コロナ禍による影響の大きさが物語るように、安定的な市場は存在しません。「変化が激しい時代だからこそ、変化を恐れない」。当時の環境認識を基に策定した中期経営戦略に今の環境変化を織り込み、基本戦略、人事・制度戦略ともに新たな挑戦に取り組んでまいります。



2018-2019

策定時の環境認識

自動車業界

- 環境の意識の高まりや規制の強化により、EV普及化の流れが加速
- ターボ業界でもダウンサイジング化の動きにより、ガソリンエンジン用ターボ需要が増加する見通し
- 新興国市場の成長などにより、世界自動車販売台数年間1億台が視野に入る

働き方

- 働き方改革の必要性の高まり（人手不足、長時間労働などの労務問題が課題となる）
- 情報技術活用により生産性向上の必要性の認識

企業の在り方

- 地域貢献など企業の社会的責任を果たす
- サステナビリティ経営の必要性の高まり

挑戦を軸に中期経営戦略を策定

既存事業強靱化への挑戦

挑戦 1

- 他社の追随を許さない技術力の構築
- ニッチトップへの取組み
 - シナジーを活用した独自技術の進化と構築
- さらなるQDC※の改善
- 各種KPIの達成
 - 原価低減の着実な取組み

次世代への挑戦

挑戦 2

- 海外事業のさらなる進化
- 海外比率拡大
 - さらなる海外拠点の強化
- 新規事業の立ち上げ
- 次世代自動車への対応
 - 社内シーズの活用

働きがいのある職場への挑戦

挑戦 3

- 自己実現を果たせる環境
- 挑戦を歓迎する仕組み
 - 成長を描ける仕組み
- 働きやすさの充実
- 働き方改革
 - コミュニケーション改革

※ Quality (品質)・Delivery (納期)・Cost (コスト) のことで、当社では中期経営計画に基づき「QDC」の表記としております。

2020-2021

現在の環境認識 (新型コロナウイルス感染拡大)

自動車業界

- 各国の方針も次世代自動車へのシフトが急加速
- CASE※1・MaaS※2の動きが加速し、各自動車メーカーも戦略の方向性を公表
- 自動車産業における数量ベースでの成長の鈍化（世界自動車販売台数年間1億台の達成は遅れる見通し）

働き方

- ESG・SDGsを意識した企業経営が必須
- DX（デジタルトランスフォーメーション）など情報技術活用による業務変革の必要性の高まり
- 新型コロナウイルス対応に留まらず、時代の変化に合わせた新たな働き方の確立（介護・育児・時短・テレワークなど）
- ダイバーシティの推進

企業の在り方

※1: 「CASE」とは、Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動運転）、Shared&Services（シェアリング&サービス）、Electric（電動化）という4つのトレンドの頭文字をもとにした造語。
※2: 「MaaS」とは、Mobility as a Serviceの略。地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済などを一括で行うサービス。

各事業の方向性

ネットシェイプ	<ul style="list-style-type: none"> ■冷間鍛造用金型の分野でトップであり続けるための総合力向上 ■新領域に向けた新規開発促進 ■コロナ禍による環境変化も織り込んだ海外戦略
アッセンブリ	<ul style="list-style-type: none"> ■他事業とのシナジーを進め、競争力を強化 ■量産事業のノウハウ（自動化、IoTなど）の他事業への横展開による貢献
フィルタ	<ul style="list-style-type: none"> ■独自のマーケティング活動、技術の広がりを進め、引き続き3N（新製品・新用途・新規顧客）の動きを加速 ■新たな需要創出を進め、より盤石な柱に成長
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■企業の在りたい姿の再構築 ■「チャレンジする風土づくり」の再醸成や社員満足度のさらなる向上を目指す

活躍する社員の声
Next

活躍する社員の声

Challenge、そしてGrowth

未来へアクション

Future

ビジネス環境が今、大きな変化に直面する中で、ニチダイグループは新たな時代を見据え、未来を先取りする変革に取り組まねばなりません。ここに登場するのは、次世代を担う社員たち。それぞれが考える各事業・各現場の次なる方向性をご紹介します。

私は入社以来4年間、金型製造の現場に携わってきました。現在、私が担当している工程では、機械操作の自動化が進んでおり、作業効率はよく体力的な負担も基本ありません。将来的には、今ある作業のほとんどは自動化されると思います。現場は5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）が徹底され、風通しも良く、自分ができないことは同僚や上司が積極的にサポートしてくれます。加えて、温度管理もしっかりしていて、通勤バスもあり環境は整っていると思います。「女性が働きやすい職場」であることをもっとPRして、女性の活躍を増やしたいです。

アセンブリ事業はIoT化に取り組んでおり、既にライン稼働状況はリアルタイムで確認できる状態にあります。今後は、IoTにより得られたデータを有効活用し、QDC（※）を向上させる為のデータサイエンスの知見が求められています。例えば、加工不良が出たら、そのデータをフィードバックし自動的に加工条件を修正させる事ができれば、生産性は劇的に高まります。ハードルは高いですが、挑戦していかなければならない分野です。

※ Quality (品質)・Delivery (納期)・Cost (コスト) のことで、当社では中期経営計画に基づき「QDC」の表記としております。

IoTのその先へ
ビッグデータを活かすアセンブリ事業
技術課 F.Y

02

女性が働きやすい
環境は既に
整っているネットシェイプ事業
製造部 K.A

01

フィルタ事業において、私は主にカーボンニュートラル社会に向けた「水素関連」の技術を大手部品メーカーと共同開発中で、安価で安定した品質を有する製品の生産技術開発を行っています。当社製品は少量多品種の製品が主ですが、今後増加が予想される量産品をより効率よく生産できるような新しいワークフローの仕組み構築にも力をいれています。技術開発と仕組みづくりを通じて、未来の可能性を創造し、変革に挑んでいきたいです。

タイに根ざし
アジアビジネスを
拡大するニチダイアジア
H.S

04

コロナ禍の影響で、アジアに進出している企業は変化を余儀なくされています。これまで日本で品質トラブルを収束させてから現地に生産が移管されるケースが大半でした。しかし、日本からSV（スーパーバイザー）が立ち会うことが難しくなったため、現地で試作対応から量産立ち上げまでを進める動きが活発になっています。この流れは、技術力を強みとするニチダイアジアにとっては追い風です。工程設計から部品図作図までを現地でできる企業はそう多くありません。変化を好機と捉え、今後はさらに現地に深く関わり、アジアビジネスを拡大したいと考えています。

技術開発、
未来への
変革に挑むフィルタ事業
技術部 U.T

03



現在、採用と研修を主に担当しています。ここ数年、あらゆる業種・分野で変化に対応していくことが求められており、ニチダイグループにおいても例外ではありません。この普遍的な課題に対する私の答えは「個を伸ばす」です。一律の研修を実施するだけではなく、全社員が能力に応じた研修を選んで受けられるようにするなど、個々の才能開花を促すような取り組みを進めていきたいと考えています。また、「超少子高齢化社会」はもう目前に迫っており、採用活動においてもより一層厳しい状況になることが想定されます。そのため、ニチダイで働きたいと思ってもらえるよう、より魅力的な職場づくりが必要だと考えています。経営者層への意見提案も行いつつ「全社員サポート」を徹底し、社員一人一人が働きがいを感じられる環境づくりに貢献していきたいです。

個を伸ばし、
働きがいのある
環境をつくる管理本部 総務部
H.K

05





TOPICS 1

当社社員が日本塑性加工学会匠賞を受賞いたしました

(@2021年6月11日)

当社所属の西村雅裕が日本塑性加工学会より2021年度匠賞を受賞いたしました。本賞は、日本塑性加工学会から卓越した顕著な技術・技能により優れた技術開発、研究成果および製品製造に大いに貢献した個人に贈られるものです。受賞内容は「鍛造スクロール製造技術開発と生産性向上への貢献」となります。当社はこれからも、引き続き技術開発に注力してまいります。



写真) ネットシェイプ事業統括本部
部品製造部 西村 雅裕
表彰状と記念メダル

TOPICS 2

東証スタンダード選択申請へ

(@2022年4月4日より)

東京証券取引所の市場区分再編が行われ、当社は従来からのJASDAQ市場から、スタンダード市場を選択申請することいたしました。スタンダード市場のコンセプトは、「公開された市場における投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えつつ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場」であり、コーポレートガバナンス・コードも全原則が適用されることとなります。当社としまして、企業価値向上のため、なお一層努力してまいります。

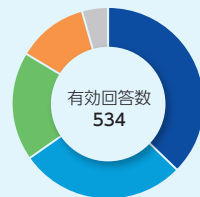


株主さまアンケート結果

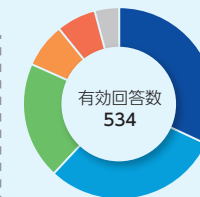
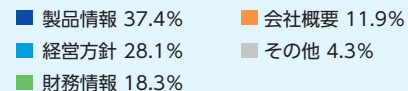
たくさんのご回答、ありがとうございました



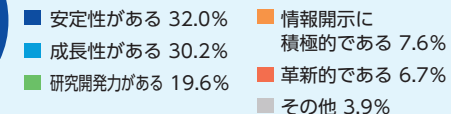
2021年6月に発行した株主通信 (Vol.39) で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答をいただきました。EVをはじめとする次世代自動車への関心の高まりを改めて感じました。お寄せいただきましたご回答は、今後の事業活動、IR活動の参考にさせていただきます。下記に、アンケート結果の内容を、一部ご紹介いたします。



当社についてもっと知りたい情報



当社に対するイメージ



ご意見 Q&A コーナー



工場見学を希望します。

(50代・男性)



当社では現在、株主さま向け工場見学を受け付けておりません。当社の工場をご紹介します方法として、工場見学動画の発信を検討してまいります。なお、昨年度発行の株主通信Vol.37にて、簡単ではありますが、工場内部の紹介ページを設けております。また、当社ホームページからも過去の株主通信をご覧ください。



フィルタ事業について今後の方向性を教えてください。

(50代・女性)



フィルタ事業は、産業分野が多岐にわたることから、新製品、新用途、新規顧客の拡大を続け成長している事業です。売上高構成比が最も低くなっていますが、自動車産業以外を主要顧客としている事業であることから、継続して注力してまいります。



製品情報が少ないので、もっと紹介してほしいです。

(80代・男性)



当社が生産している製品は、工場向けの金型など、日常生活に馴染みのないものが多くなっています。製品情報の詳細は、ホームページで紹介しております。IR活動としても、積極的に製品情報について発信し、当社製品の紹介に力を入れていく予定です。



野球部の情報なども株主通信で取り上げていただきたいです。

(40代・男性)



いつも当社硬式野球部に声援いただき、誠にありがとうございます。今後、株主通信でも、硬式野球部について、取り上げることを予定しております。なお、硬式野球部の情報は、公式Facebookで発信しております。これからもご声援のほど宜しくお願いいたします。



Facebookで最新情報をチェック

株主さまアンケート ご協力をお願い

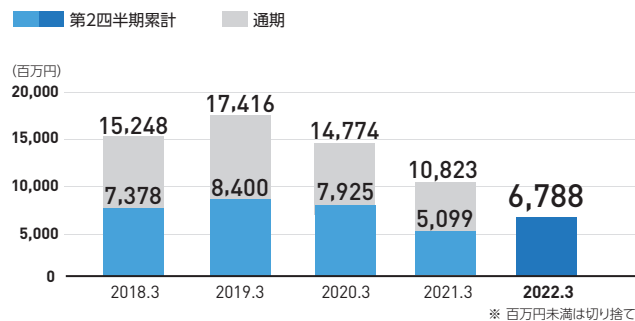
当社では、今後の経営やIR活動に反映させていただくため「株主さまアンケート」を実施しております。ご意見、ご感想を同封のアンケートハガキにご記入、ご投函いただけますようお願いいたします。

アンケートにご回答いただきました株主さまより 抽選で

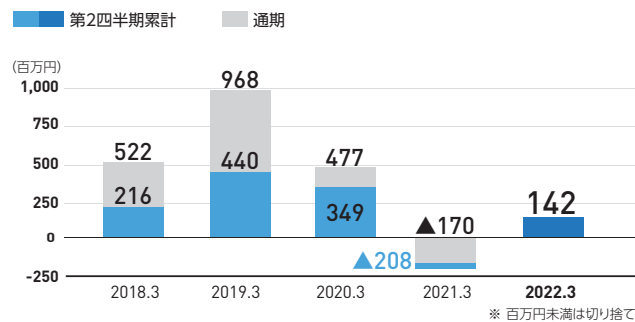
QUOカードをプレゼント ※当選者の発表は、QUOカードの発送をもって代えさせていただきます。

プレゼント対象期間:2021年12月末まで/アンケートは12月以降も実施しております。

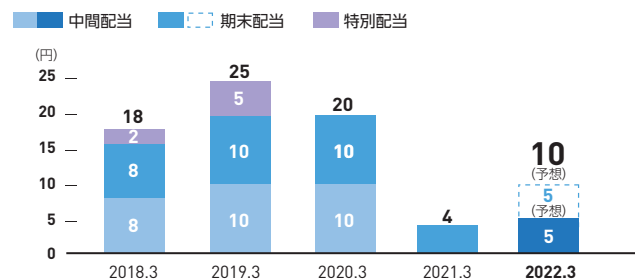
売上高(第2四半期累計)



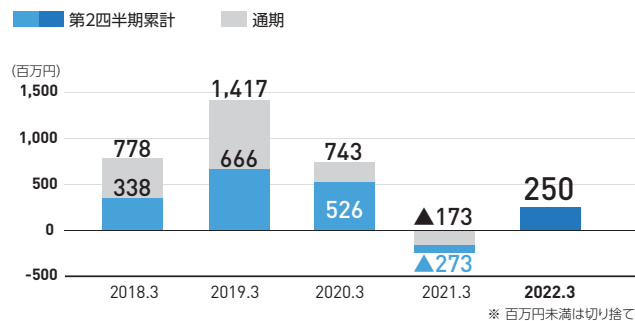
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(第2四半期累計)



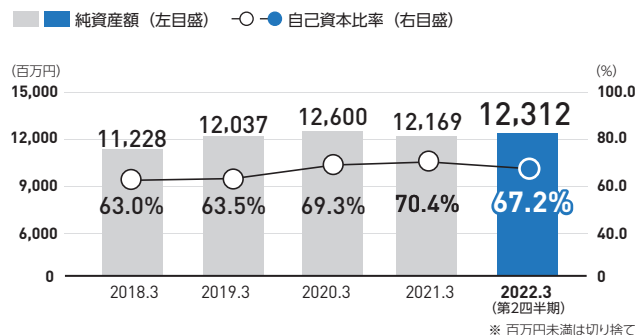
一株当たりの配当金



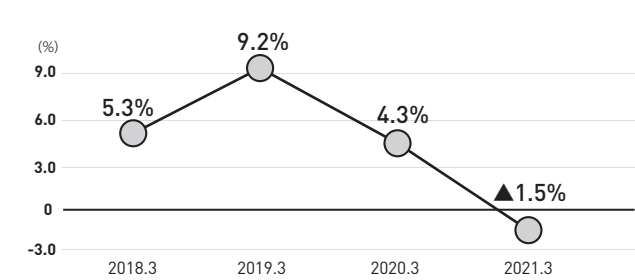
経常利益(第2四半期累計)



純資産額/自己資本比率

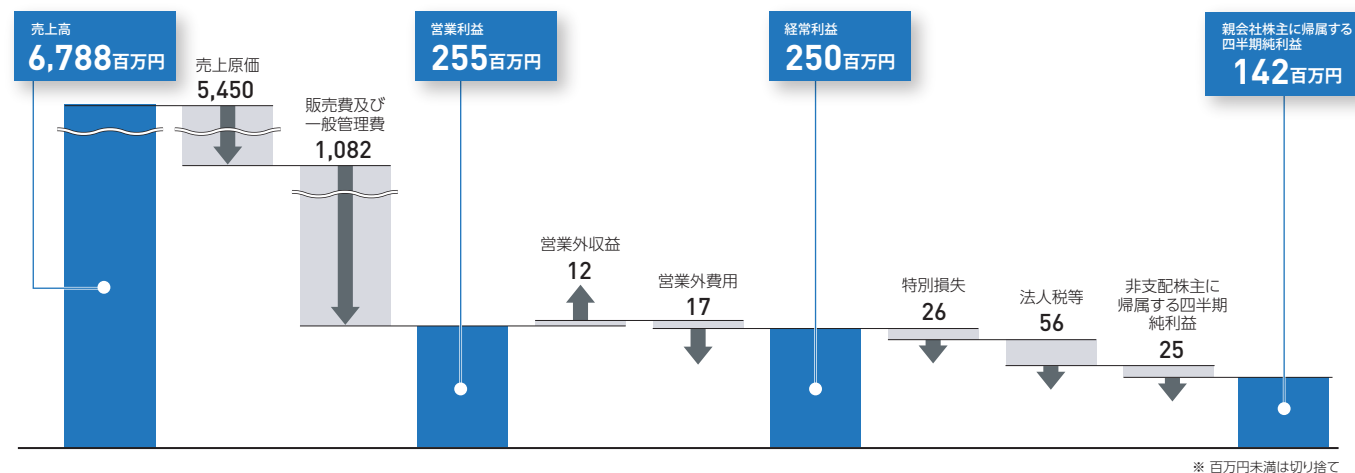


ROE(自己資本利益率)

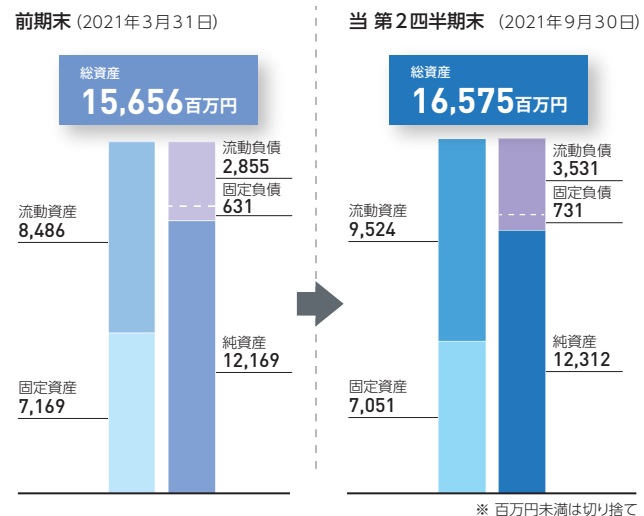


連結損益計算書

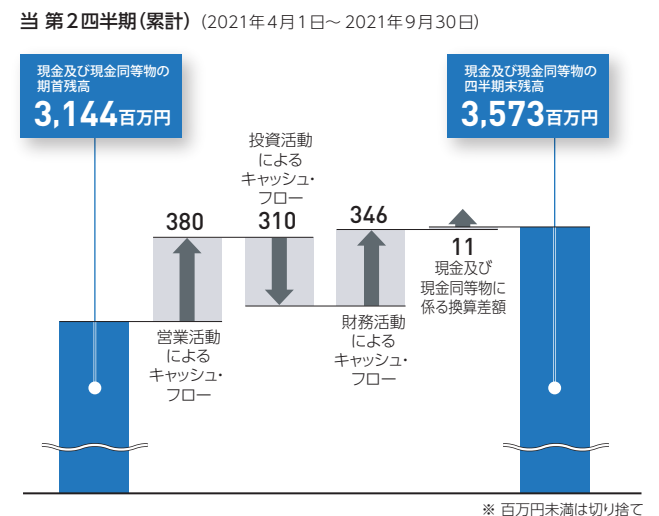
当 第2四半期(累計) (2021年4月1日~2021年9月30日)



連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書



国内の主要な事業所 (2021年9月30日現在)

- ① **本社・京田辺工場**
京都府京田辺市新北町田13
- ① **宇治田原工場**
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- 熊谷営業所**
埼玉県熊谷市桜木町2-88
- 京都営業所** (宇治田原工場敷地内)
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- 浜松営業所**
浜松市中区高丘西3-12-3
- 岡山営業所**
岡山市北区今8-8-8
- 名古屋営業所**
名古屋市名東区高社2-127
- 熊本営業所**
熊本市東区长嶺南1-1-7

- ネットシェイプ事業
- アッセンブリ事業
- フィルタ事業

関連会社 (2021年9月30日現在)

- ② **ニチダイフィルタ株式会社** (宇治田原工場敷地内)
京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14
- ③ **NICHIDAI (THAILAND) LTD.**
700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakra Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand
- ④ **THAI SINTERED MESH CO., LTD.**
Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand
- ⑤ **NICHIDAI U.S.A. CORPORATION**
15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA
- ⑥ **NICHIDAI ASIA CO., LTD.**
700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakra Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand



本社



京田辺工場



宇治田原工場



NICHIDAI (THAILAND) LTD.



THAI SINTERED MESH CO., LTD.

会社概要 (2021年9月30日現在)

社名 株式会社ニチダイ
(英文表記) NICHIDAI CORPORATION
証券コード 6467
本社所在地 京都府京田辺市新北町田13
創業年月日 1959年5月5日
設立年月日 1967年5月1日
資本金 14億2,992万円
従業員数 372名(単独)
667名(連結)

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 15,500,000株
発行済株式の総数 9,053,300株
単元株式数 100株
株主数 4,348名

大株主	株主名	持株数	持株比率
有限会社ジャスト		885,600	9.78%
田中 克尚		477,188	5.27%
ニチダイ従業員持株会		410,744	4.53%
中棹 知子		282,600	3.12%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)		275,100	3.03%
古屋 啓子		252,600	2.79%
永井 詳二		234,500	2.59%
京都中央信用金庫		220,000	2.43%
株式会社三菱UFJ銀行		217,600	2.40%
大阪中小企業投資育成株式会社		154,000	1.70%

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役会長 古屋 元伸
代表取締役社長執行役員 伊藤 直紀
取締役執行役員 伊藤 正人 ネットシェイプ事業統括本部長
取締役 渡部 敏成 監査等委員 (常勤)
社外取締役 陰地 弘和 監査等委員
社外取締役 竹田 千穂 監査等委員

所有者別分布



所有者別株式数分布

